

CAR No.34&35&36

Beyond

スーパーFJ

Altrex-RT

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

2011/ 10/16

スーパーFJ 鈴鹿クラブマンレース 第 6 戦

大類選手がチーム最高成績となる4位入賞を達成！  
佐藤選手は懸命の巻き返りで 12 位フィニッシュ！

10 月 16 日 決勝

鈴鹿サーキット東コース

1 LAP=2.243km

天候：晴れ コース：ドライ

気温：24℃ 湿度 37% 路面温度：27℃

ドライバー：佐藤祐希 (アルビ RT・ビヨンド EDKKS GIA # 34)

栗村和宏 (アルビ RT・ビヨンド EDKKS GIA # 35)

大類康幸 (アルビ RT 玉三郎 EDMotyGIA # 36)

10 月 15 日 (土) フリー走行

天候は雨だったが、決勝となる翌日が晴れの予報だったため、セッティングを見ながらの走行となる。3 本目の走行時間になると激しい雨になり、協議の末、3 本目の走行はキャンセル。他車の走行研究に時間を充て決勝に備える。

10 月 16 日 (日) 予選

前回予選でクリアラップが取れず下位に沈んだ大類選手。今回はいち早くコースに出てクリアラップを走行。見事 6 番グリッドを獲得する。佐藤選手は 15 番手に入る。

栗村選手は走行中にコースアウト。マシンから降りてオフィシャルによる回収作業が行われていたところに他車が突っ込み、マシンが大破。無念のリタイヤとなる。この影響により佐藤選手は 14 番手ポジションで決勝を迎えることになる。

10 月 16 日 (日) 決勝

スタート直後、大類選手より前の吉田選手と松本選手が接触し、メインストレートで絡

み合いながらガードレールに張り付くクラッシュが発生。その間に、大類選手と並んで好スタートを決めた大宮選手が大類選手の前に出てしまい、大類選手は5番手となる。しかし、大宮選手のペースが上がらず大類選手が肉薄。大宮選手にアタックをかけるも決定打に欠き、順位を上げることが出来ずに14周が経過。その間に後ろ2台の車に大類選手も追いつかれ、4台での激しい4番手争いとなる。

15周目、大類選手が1コーナーのインに飛び込み、見事4番手を奪取。しかしその時点でトップ3と10秒程度の開きがあり、4位死守に切り替える。その後は無難に周回をこなし、アルビレックスRTとしてはチーム発足後ベストとなる4位チェッカーを受けた。

佐藤選手はスタート後しばらく12番手を走行。しかし、1コーナーと2コーナーの間でスピン。最後尾まで順位を落としてしまうが、懸命の走りで12番手まで巻き返し、佐藤選手にとってのベストリザルトとなる12位で最終戦を終えた。

#### 佐藤選手コメント

また決勝中に回ってしまい、悔しいです。アルビレックス・レーシング・チームのマシンは完璧でしたが、自分のミスで応援していただいた皆様に申し訳ないです。

今年度のレースはこれで終わりですが、来年も参戦予定なので練習していい結果を残したいです。

#### 桑村選手コメント

練習不足で残念な結果になりましたが、来年に向け練習して参ります。チームのみなさんありがとうございました。

#### 大類選手コメント

表彰台が見えてきました。アルビレックス・レーシング・チームは良いマシンを用意していただき有難うございました。

今はこの結果に満足しています。

来年度は優勝目指してがんばります。

#### 中村監督コメント

最終戦、結果的には入賞で満足しております、しかし、トップ争いをするにはあとコンマ5秒足りないのので、それを詰められるよう努力いたします。



 Nankai Plan Co.,Ltd.



鈴木会計  
埼玉・川口  
<http://www.tkcnf.com/sds>

P PLUS

Moty's  
HYPER LUBRICANT TECHNOLOGY

SPN  
SPEED PARK NIIGATA